

平成26年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月2日

上場取引所 東

上場会社名 ナトコ株式会社

コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長・生産企画部長 (氏名) 山本豊

TEL 0561-32-2285

四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第3四半期の連結業績(平成25年11月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第3四半期	10,530	△8.3	911	△47.0	973	△47.2	553	△44.7
25年10月期第3四半期	11,488	14.0	1,719	138.6	1,844	145.6	1,000	188.4

(注) 包括利益 26年10月期第3四半期 595百万円 (△61.9%) 25年10月期第3四半期 1,562百万円 (233.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第3四半期	67.96	—
25年10月期第3四半期	136.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第3四半期	19,728	15,575	79.0
25年10月期	20,927	15,250	67.9

(参考) 自己資本 26年10月期第3四半期 15,575百万円 25年10月期 14,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	8.00	—	24.00	32.00
26年10月期	—	10.00	—		
26年10月期(予想)				12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の連結業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△12.5	1,200	△53.1	1,270	△53.5	720	△52.2	88.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年10月期3Q	8,144,400 株	25年10月期	7,324,800 株
② 期末自己株式数	26年10月期3Q	920 株	25年10月期	890 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年10月期3Q	8,143,493 株	25年10月期3Q	7,323,942 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済は雇用環境の改善を背景に底堅く推移しましたが、中国を始めとする新興国経済の停滞が続いており、依然として不透明な状況でありました。

わが国経済においては、消費税の駆け込み需要の反動により個人消費に弱い動きがみられるものの、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景に企業収益、設備投資や雇用情勢等が改善し、総じて景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもとで、当社グループは市場ニーズを先取りした独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発に注力し、新規顧客の獲得に努めましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,530百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

利益面におきましても、売上の減少に加え、国内の原油・ナフサ市場が高止まりし、原材料価格が上昇したことや耐塗可精細化工（青島）有限公司の操業準備費用が増加したことにより、営業利益911百万円（前年同期比47.0%減）、経常利益973百万円（前年同期比47.2%減）、四半期純利益553百万円（前年同期比44.7%減）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

①塗料事業

金属用塗料分野では、鋼製家具、工作機械など各業界ユーザーへの環境対応型塗料の拡販、新規顧客獲得に向けた積極的な営業活動の結果、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。内装建材用塗料分野では、無塗装のフローリング製品の増加による需要減が継続しており、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。外装建材用塗料分野では、大手ユーザーへの提案内容が新商品で採用されたことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。その他の分野においては、シンナーにおいて新規顧客の獲得により需要が伸びたものの、樹脂素材分野においてはスマートフォン向けの製品販売が低迷したことにより、売上高は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

その結果、塗料事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は9,614百万円（前年同期比7.8%減）、セグメント利益は1,191百万円（前年同期比39.7%減）となりました。

②ファインケミカル事業

化成品における電子材料向けのコーティング材の需要が低調であったことで、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は764百万円（前年同期比15.0%減）、セグメント利益は81百万円（前年同期比37.3%減）となりました。

③産業廃棄物収集運搬・処分事業

産業廃棄物収集運搬・処分におきましては、廃液の有価物化が進行したことにより、廃棄物の取扱量が減少し、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、産業廃棄物収集運搬・処分事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は150百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益は33百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は19,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,199百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が191百万円増加したものの、現金及び預金が496百万円、受取手形及び売掛金が972百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は4,152百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,523百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が406百万円、未払法人税等が899百万円、賞与引当金が157百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は15,575百万円となり、前連結会計年度末に比べ324百万円増加いたしました。これは主に少数株主持分が1,040百万円減少したものの、資本剰余金が1,027百万円、利益剰余金が295百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.0%（前連結会計年度末は67.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月期の連結業績予想につきましては、平成26年8月27日に公表いたしました「平成26年10月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」及び「(訂正)「平成26年10月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,574,975	6,078,129
受取手形及び売掛金	5,847,336	4,875,296
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	977,160	871,738
仕掛品	35,110	39,561
原材料及び貯蔵品	383,610	414,032
繰延税金資産	201,965	31,995
その他	532,840	870,990
貸倒引当金	△5,740	△4,801
流動資産合計	14,647,259	13,276,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,936,322	2,975,461
機械装置及び運搬具（純額）	513,994	839,371
土地	1,713,470	1,713,470
その他（純額）	1,459,052	285,681
有形固定資産合計	5,622,839	5,813,985
無形固定資産		
投資その他の資産	202,881	206,705
投資有価証券	350,068	324,928
繰延税金資産	10,770	8,125
その他	98,221	102,016
貸倒引当金	△4,839	△4,669
投資その他の資産合計	454,220	430,401
固定資産合計	6,279,941	6,451,092
資産合計	20,927,201	19,728,033
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,078,948	2,672,936
未払法人税等	931,724	31,797
賞与引当金	265,160	107,736
役員賞与引当金	41,300	26,550
その他	790,617	743,118
流動負債合計	5,107,750	3,582,138
固定負債		
繰延税金負債	70,262	58,606
退職給付引当金	83,960	87,061
役員退職慰労引当金	252,397	259,277
その他	162,137	165,504
固定負債合計	568,756	570,450
負債合計	5,676,507	4,152,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	2,288,760	3,316,538
利益剰余金	9,776,314	10,071,977
自己株式	△2,618	△2,652
株主資本合計	13,688,796	15,012,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,834	95,875
為替換算調整勘定	411,301	467,365
その他の包括利益累計額合計	521,136	563,241
少数株主持分	1,040,761	—
純資産合計	15,250,693	15,575,444
負債純資産合計	20,927,201	19,728,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
売上高	11,488,369	10,530,063
売上原価	7,889,962	7,830,378
売上総利益	3,598,407	2,699,685
販売費及び一般管理費	1,878,800	1,788,350
営業利益	1,719,607	911,335
営業外収益		
受取利息	11,784	5,519
受取配当金	6,983	8,308
貸倒引当金戻入額	—	1,109
為替差益	95,953	36,809
その他	19,008	17,851
営業外収益合計	133,729	69,598
営業外費用		
支払利息	25	27
売上割引	6,783	7,215
その他	1,771	151
営業外費用合計	8,581	7,394
経常利益	1,844,755	973,539
特別利益		
固定資産売却益	186	1,251
負ののれん発生益	—	12,982
特別利益合計	186	14,234
特別損失		
固定資産処分損	973	8,716
特別損失合計	973	8,716
税金等調整前四半期純利益	1,843,969	979,057
法人税、住民税及び事業税	732,714	252,185
法人税等調整額	△6,395	173,400
法人税等合計	726,318	425,585
少数株主損益調整前四半期純利益	1,117,650	553,471
少数株主利益	116,722	—
四半期純利益	1,000,927	553,471

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,117,650	553,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,378	△13,958
為替換算調整勘定	380,436	56,063
その他の包括利益合計	444,814	42,105
四半期包括利益	1,562,465	595,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,444,970	595,576
少数株主に係る四半期包括利益	117,495	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年11月1日を効力発生日とする株式交換を当社の連結子会社である巴興業株式会社と行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金は1,027,778千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,316,538千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	産業廃棄物 収集運搬・ 処分事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,428,203	899,711	160,454	11,488,369	—	11,488,369
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	10,428,203	899,711	160,454	11,488,369	(—)	11,488,369
セグメント利益	1,975,236	130,719	31,291	2,137,247	(417,640)	1,719,607

(注) 1. セグメント利益の調整額417,640千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年11月1日 至平成26年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	産業廃棄物 収集運搬・ 処分事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	9,614,460	764,748	150,854	10,530,063	—	10,530,063
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	9,614,460	764,748	150,854	10,530,063	(—)	10,530,063
セグメント利益	1,191,533	81,985	33,435	1,306,953	(395,617)	911,335

(注) 1. セグメント利益の調整額395,617千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成25年11月1日を効力発生日とする株式交換を当社の連結子会社である巴興業株式会社と行ったことに伴い、負ののれん発生益12,982千円を特別利益に計上しております。当該負ののれん発生益は報告セグメントに配分しておりません。